

令和8年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習(緑化)	単位数	2	履修学年・クラス	3B
担当者		使用教材					
学習目標	○庭園製作を通して、基本的な技術や操作を身に付ける。 ○造園の知識を深めながら、自ら課題を見いだして解決する能力を身に付ける。 ○農業クラブ活動や地域の連携、造園の持つ可能性を広げる活動に取り組む。						
学習方法	○研究テーマを設定し、計画的にプロジェクト研究を進め、造園に関する知識や技術を身に付ける。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	造園に関する知識・技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	計画的に実習を進め、課題に対して的確に判断することができる。				
	態	主体的に取り組む態度	庭園製作における課題を見いだし、積極的に取り組むことができる。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	・農業クラブ活動(意見発表) 3級造園技能検定	・農業クラブ活動(意見発表)に積極的に参加し、社会性を身に付けます。 ・造園の学習を通して、興味関心を持ち、課題を持って学習に取り組む姿勢を身に付ける。 ・造園を総合的に学習し、技能検定の資格取得に結び付く、学習に取り組む。	○	○	○	[知]造園の基礎的な知識が身についている。造園で用いる道具類の取り扱いができる。 [思]体験的学習の中で課題を的確に捉え解決しようとする。自分の考えをまとめることができ、他者へ伝えることができる。 [態]造園について興味関心があり、自ら進んで学習に取り組んでいる。	授業観察 実習レポート
前期末	3級造園技能検定 ・農業クラブ活動(農業鑑定競技)	・造園を総合的に学習し、技能検定の資格取得に結び付く、学習に取り組む。 ・農業鑑定競技区分【造園】の分野を網羅的に学習し、基礎基本の知識を身に付ける。	○	○	○	[知]造園の基礎的な知識が身についている。造園で用いる道具類の取り扱いができる。 [思]体験的学習の中で課題を的確に捉え解決しようとする。 [態]造園について興味関心がある。	授業観察 実習レポート
後期中間	卒業庭園作成 文化祭(学科展)に向けた作品作り	・2年次より学習に取り組んで、身に付けた知識・技術を活かし、設計から施工までを授業選択者で協力してかたちにする。 ・日ごろ学習で身に付けた知識、技術を成果にまとめ、他者に伝える表現力を身に付ける。	○	○	○	[知]造園技法を理解し、他者と協力して取り組むことができる。道具を正しく取り扱うことができる。 [思]協力して作業に取り組むことができる。自分の考えをカタチにまとめ表現できる。 [態]造園について興味関心がある。	授業観察 実習レポート
後期末	門松作製 まとめ	・門松を製作し、校外施設へ寄贈するまでを通して、ボランティア精神や社会貢献活動の重要性を知る。 今年度の学習の成果をまとめ、振り返る。	○	○		[知]造園の基礎的な知識が身についている。 [思]学習で身に付けた知識技術を活かし、地域社会に貢献できるモノづくりの態度を示す。	授業観察 実習レポート